



えんだより



可愛保育園

令和8年 5月号

5月の予定

- 1日(金) こどもの日の会
- 7日(木) リズムジャンプ(さくら)
- 14日(木) 交通安全教室(さくら・きく・ばら)
- 15日(金) たいそう教室(さくら)
- 19日(火) 歯科検診・フッ素塗布
- 20日(水) 園外保育(春の遠足)
- 21日(木) 内科健診
- 27日(水) 尿検査提出日
- // 避難訓練
- 28日(木) クッキング(さくら)
- 29日(金) 誕生日会



- * 8日(金) から貸出図書を開始します。(毎週金曜日)
- * 春の遠足については、別途お知らせします。
- * 内科健診、歯科検診については「ほけんだより」をご覧ください。



登降園時のルクミーの打刻について

登園時 門を入ってきた時に打刻

降園時 子どもと一緒に、門を出る時に打刻

※門を入った時に打刻しないでください。

- * 打刻間違いや打刻忘れなどは、お知らせください。
- * 子どもが操作しないようにご協力ください。

触りたがるかもしれませんが、おもちゃではありません。「**大人しか触ってはいけない**」と教えてあげてください。また、門の開閉は必ず大人が行ってください。ご理解ご協力をお願いします。



- * すべての衣類や持ち物の「**わかりやすいところ**」に「**ひらがな**」で「**おおきく**」名前を書いてください。
- * 兄姉が使っていたものや、お知り合いからいただいた物は、**名前を書き換えて**ください。



『今、うちのクラスは…』

各クラスの「今」をお伝えしていきます。

《クラスの雰囲気と、担任からの一言》



★さくら組★（内山かりん）

さくら組になり、クッキングやお楽しみ保育、リズムジャンプなどたくさんの行事を待ち焦がれる様子が見られ、とても楽しみにしながら過ごしています！

子どもたちの「やってみたい！」という挑戦する気持ちを大切に、一緒に考え取り組み最後の保育園生活を楽しみたいと思います。

1年間よろしくお願いします！！

★きく組★（是貞一穂）

おままごとやブロック、カルタ、パズル、砂場やハンターごっこなど、好きなあそびを自分で決めて、よく遊んでいます。食事の時間も楽しい雰囲気です。

きくぐみさんへ「おへやでも、おそとでも、たくさん たのしいことをしようね😊」

★ばら組★（浮田しのぶ）

新しい友だちも増えて、毎日元気に過ごしています。新たな環境に戸惑う事もなく、元気に遊び、たくさん食べ、自分の事もしっかりできています。赤い帽子を被る事がすごく嬉しいみたいです。ひとつお兄さん、お姉さんになりたくましさを感じています。色々なことを経験し楽しく過ごしていきたいと思います。1年間よろしくお願いします。

★たんぽぽ組★（三戸知代）

歌を歌ったり踊ることが大好きなたんぽぽ組さん。ピアノを弾くと、ぴよんぴよん跳ねたり、左右に体を揺らして楽しそうに歌っています♪これからもたくさん遊んで、楽しく過ごしていきたいです。

★もも組★（川井久美子）

よく遊び、よく食べて、よく寝る日々を過ごしています。カタコトの言葉のやりとりのおままごとをする姿、スプーンを自分で持って食べる姿、どんな姿にも成長を感じています。この一年、みんなで、たくさん笑いあって一緒に成長していきたいです。

★すみれ組★(伊勢木佳子)

まだ新しい環境に慣れてなくて涙が出ることもあるけれど、先生たちとおもちゃで遊んで楽しい気持ちを共感できる時間が増えたり、喃語でおしゃべりをしたりする時間が増えてきています。すみれ組さんのかわいい笑顔で、温かく心地良いお部屋にしていきたいです。

目標に向けた取り組み

保育理念



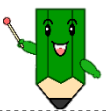
現在を最もよく生き、
生涯にわたる生きる力の基礎を育む

3月末より進めてきました園庭改修工事が、4月28日に終了しました。工事期間中はご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今回の改修では、園庭奥側に築山や植栽を設け、『**挑戦を楽しむ、小さな山の冒険**』をコンセプトに、子どもたちがより主体的に過ごし、自ら遊びを見つけ出す環境へと整えました。

築山や草木などの自然にふれながら、登る・走る・隠れるといった多様な動きを楽しみ、五感を使って楽しむ経験を大切にしていきたいと考えています。

日々のあそびの中で、子どもたちの心と体がのびやかに育っていく姿を見守りながら、植物の生長や、そこに集まる生き物たちの命にもふれ、子どもたちとともに“わくわく”楽しんで過ごしていきたいと思います。



研修報告

今回の園庭改修に向けて園内研修を数回行い、園庭について職員で学びを深めてきました。その中で、子どもたちがより主体的に遊び込めるよう、植物や土、石などの自然を取り入れた環境づくりを進めていきたいという思いを共有しました。

研修では、自然を活かした園庭は「完成したら終わり」ではなく、子どもたちの遊びや季節とともに変化しながら育っていくというお話がありました。

また、けがへの不安についても考える機会となりました。講師の先生からは、「平らで何もない環境が最も安全とも言えるが、実際の生活の中にはさまざまな凹凸や不安定さがあり、その中で自分で気づき、考え、危険を避ける力を育てていくことが大切である。例えば、斜面を歩く中で滑ったり転んだりすることも、子どもたちにとっては大切な経験。そうした体験を通して、体の使い方や周りへの注意力が育っていきます。」とのお話がありました。

園では安全に十分配慮しながら、職員がそばで見守る中で、子どもたちが安心して挑戦できる環境を大切にしていきます。これからも、子どもたちの「やってみたい」を大切にしたい環境づくりを進めてまいります。